

第 16 回 CEARAC フォーカルポイント会合の結果について

平成 30 年 5 月 11 日 (金)

1. 概要

「第 16 回 CEARAC フォーカルポイント会合」が 5 月 10 日 (木)、11 日 (金) に富山市内で開催されました。

フォーカルポイント会合は、国連環境計画 (UNEP) の北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) の活動拠点の一つである CEARAC ((公財) 環日本海環境協力センターが指定されている) の活動方針を議論するための調整・助言機関であり、今般の会合では CEARAC の 2016-2017 年の活動の報告が行われるとともに、2018-2019 年の活動計画について議論が行われました。

2. 日程及び開催場所

5 月 10 日 (木) ~ 11 日 (金) 富山県民会館 401 会議室

3. 出席者

- ・CEARAC フォーカルポイント (日本・中国・韓国・ロシアの政府代表者) 9 名
 - ・NOWPAP 地域調整部、各国地域活動センター、関係国際機関代表者 11 名
- [議長: ヨンナム・キム (韓国)、書記: ウラジミール・シュルキン (ロシア)]

4. 主な結果

(1) CEARAC の 2016-2017 年の活動報告 (10 日)

- ・海洋生物多様性への脅威評価
- ・NOWPAP 海域における海草藻場マッピングのフィージビリティスタディ等の活動成果を報告し、了承されました。

(2) CEARAC の 2018-2019 年の活動計画 (11 日)

2017 年 12 月に富山で開催された第 22 回 NOWPAP 政府間会合における合意に基づき、2018-2019 年に実施する以下の 3 つの活動計画について議論が行われました。

- ・海洋生物多様性に関する CEARAC 中期戦略の開発
- ・NOWPAP 海洋生物多様性地域行動計画策定に向けたロードマップの検討
- ・NOWPAP 地域における藻場分布のマッピングツールの開発

その結果、CEARAC の海洋生物多様性の保全に関する活動方針、活動テーマを定める中期戦略を策定すること、NOWPAP 海洋生物多様性地域行動計画策定に向けて、4 つの地域活動センター及び NOWPAP 地域調整部が連携して進めていくこと、藻場分布マップの作成に向けたクラウドサービスを活用したツールの作成に取り組むことなどが合意されました。

5. 今後の予定

本会合で承認された活動計画に基づき、2018-2019 年の活動が実施されます。本 2 か年の活動成果については、2019 年秋に予定されている第 17 回 CEARAC フォーカルポイント会合で各国のフォーカルポイントによりレビューが行われます。